学校番号	３２７

令和８年度　芸術科（国際文化科）

教科	芸術	科目	保育美術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・将来、幼児教育に携わることを前提にした活動内容となります。デザインの授業内容を基本とし、ものづくりの工程を学んでいきます。
・特に絵本製作では幼児が興味関心を持てるような本の内容とし、ストーリーやキャラクター設定などを熟慮しながら製本までのモノづくりを学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
制作活動を通じて準備、段取り、状況判断などの大切さを学び、それらの活動が普段の生活にも生かせるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に制作活動に取り組み、日常生活をより良いものにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。また美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	立体	【夢の文房具】 ・文房具というモチーフから想像力を広げ、幼児等が興味を持てる作品作りができるようになる。	a: 絵の具の使い方や立体（モックアップ）の表現を工夫できているか。また適切な構図が選択されているか。 b: 文房具としての機能を理解しつつ、プラスアルファの機能の含めることができているか。 C:作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	丁寧な作業と道具の適切な利用。	デザイン案などを提出し、作品に至る過程を具体的に記述する。	制作の様子。
2学期3学期	絵本製作	【絵本製作】 ・ストーリーや各ページの作成、製本などまで含めてモノづくりの基本やニーズに合わせたモノづくりを考える。	a: 絵の具の使い方や色の選択など適切にできているか。また適切な構図が選択されているか。 b: 対象となる幼児に適した表現技法・内容を選択できているか。 C:作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	丁寧な作業と道具の適切な利用。	デザイン案などを提出し、作品に至る過程を具体的に記述する。	制作の様子。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度